

長崎市立三川中学校 学校だより HP

「緑のそよ風」

第 10 号 令和7年10月6(月)

文責 校長 井上博之



9 号に引き続き、8 月～9 月までの生徒の活動、活躍等についてお知らせいたします。

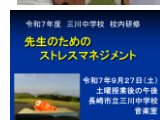
○ 実力テスト

8/25 (月) と 8/26 (火) の午前中に全学年の実力テストを実施しました。各教科のテスト回答返却時には「やったー」「頑張った甲斐があった」などの声も聞かれ、1 学期から夏休みの間に家庭学習を地道に頑張り、その成果が表れている生徒も多かったようです。学習の成果は、1、2 日の短期間の努力だけでは表れないことが多いと思います。まずは毎時間の授業に集中し、目標を定めて地道に復習・予習を繰り返し、教科に必要な基礎知識、用語や単語の理解、教科の見方や考え方を少しずつ身に付け、定着させていくことが必要です。「ローマは一日してならず」と言いますが、逆に言えば「一歩ずつ、できることを毎日地道に続ければ、必ず目指すゴールに近づける」ということになります。自分が望む生き方、幸福の姿、そのための進路実現を目指して日々、地道に前進してほしいと願っています。



○ 校内研修

8/9 (土)、8/25 (月)、9/27 (土) のそれぞれ午後から、校内研修(職員研修)を図書室で行いました。8/9 は教育研修所の平戸健吉先生を講師に招いて対面での『特別支援教育』についての研修、8/25 は宮下賢路先生によるリモート研修『学校リスクマネジメント』、9/27 は校長が講師として『ストレスマネジメント』研修を実施しました。教職員として必要な知識理解を刷新し、自分自身のこれまでの取組を振り返りながら、UD(ユニバーサルデザイン)を意識した授業改善、生徒理解に基づく効果的な支援、保護者との信頼関係構築、教師自身のメンタルヘルスケアの有効な実践を目指し、資質向上を図りました。今後も定期的に職員研修を行っていきます。

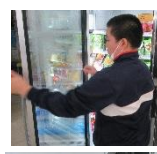


○ 2 年生職場体験学習

8/27 (水)～8/28 (木) の2 日間、2 年生は職場体験学習を行いました。今年度は市内 19 の事業所に 2 年生 43 名を受け入れて頂きました。大変御多用な中に快く御協力いただき、懇切丁寧に御指導いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

体験学習の中では県外や一般未公開の現場見学、洋上での体験活動、商店や商業施設でのバックヤード・品出・店舗業務、サービス業での接客、幼児との交流等、学校では実現不可能な多くの貴重な体験や経験ができました。今回は、初のスタジアムシティや海上保安庁での職場体験の募集等が話題となっており、TV や新聞でも報道されました。私もいくつかの事業所へ訪問し、生徒の活動の様子を見せていただきましたが、どの生徒も緊張しながら真剣に取り組んでいました。

事業所様からも「積極的によく取り組んでいた」「気が利いて主体的に行動できる」「これまで受け入れた生徒の中で一番良かった」等、お褒めのお言葉を多数いただき、本校職員一同も大変喜んでおります。



この体験活動は生徒たちにとって「多様な職業への理解」「勤労の大切さ」「働く意義や喜び」「社会の一員としての共助の精神」「人への感謝の心」「将来の夢や進路実現」等について深く考える、大変貴重な機会となりました。各事業所と地域の方々に重ねてお礼を申し上げます。ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

○ 避難訓練

9/5（金）に第2回避難訓練（地震想定）を行いました。火災による避難と異なり、地震による揺れが収まってから、頭部を保護しながら建物から離れた場所に避難しました。さらに今回は、避難、点呼終了後に体育館へ移動し、実際の地震避難後の対応を想定した『避難活動班』の確認を行いました。避難後に安全が確認された後、生徒は迎えに来た保護者と帰るか、自力で帰宅するか、避難所で安全が確認できるまで避難することになります。被災時、集団下校や避難所での集団生活となった場合に備え、地域ごとの小集団『避難活動班』を確認しました。先日、南海トラフ地震の発生確率の修正が発表されていましたが、地震多発国である日本に限らず、今後、どこで大きな地震に遭遇するかわかりません。どこにいても確実に命を守る最善の判断と行動ができるよう、自分事として防災の意識を高めておくことが重要です。また、本校では8/11の落雷等による火災通報設備の不具合発生のため、急遽、8月末に職員だけの防火・避難訓練を実施し、消火放水設備の使用についても確認しました。



○ 保健指導～睡眠教育

9/3（水）に1年生、9/11（木）に2年生、9/18（木）に3年生を対象に、養護教諭による「睡眠に関する講話」を朝活動の時間を利用して音楽室で実施しました。本校の実態として、体調不良による遅刻・欠席・早退や保健室利用が多く、特に休み明けに増える傾向があります。また、3年生を対象とした今年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査の集計結果からは、「家の人とメディア利用のルールを決めている」「睡眠が十分にとれている」という質問項目に対する肯定的な回答の割合が全国や県の平均値より低く、メディア利用による睡眠不足が懸念されています。



講話では、レム睡眠、ノンレム睡眠の睡眠サイクルや、睡眠による成長ホルモンの分泌、記憶の整理と定着やストレス軽減など、睡眠の重要性がわかりやすく説明されました。

今、日本人の平均睡眠時間は他国に比べて短いと言われています。さらに近年、特にネット通信による無料の対戦ゲームが流行し始めると同時期から、若年層の睡眠不足による集中力低下、無気力、意欲減退、イライラ感、衝動性・多動性の増加等、様々な弊害が専門家によって指摘されており、睡眠の重要性が注目されています。



○ 三校合同メディアコントロールチャレンジ

7/16（水）に実施した学校保健委員会（学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方参加）で今年度のテーマを「規則正しい生活習慣と正しい食生活」としました。その取り組みの1つとして、3校メディアコントロールチャレンジを10/6（月）～10/19（日）の期間で実施します。この目的は、三原小、西山台小と合同でこのチャレンジを実施することで「メディア使用について考える」「心身の健康や生活を振り返る」「目を大切にする」それぞれの機会とすること。そして家族全体でメディア利用の在り方について考え、取組後もメディアと上手に付き合えるよう、家庭環境を整えることです。10/1（水）に生徒に説明し、チャレンジ用紙を準備して開始しますので、ぜひご家庭でも話題にさせていただき、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。